

# 介護職外国人採用支援フェア 開催

改正技能実習制度の施行が近づくなか、受け入れ側がすべきこと

発行 保健・医療・福祉サービス研究会  
〒104-0061 東京都中央区銀座 7-2-22  
TEL03-6228-5995 FAX03-6228-5996  
E-mail info@hifsk.co.jp

5月26日(金)都内で介護職外国人採用支援フェアが開催された(主催:株式会社高齢者住宅新聞 共催:株式会社メディパス)。8ヶ国の送り出し機関(計19機関)がブースを出展し、自由に相談ができる会場のほか、「技能実習制度の仕組みと注意点」「外国人介護スタッフの受け入れ成功の秘訣」などのセミナー開催や各国の送り出し機関のプレゼンテーションが行われた。共催社であり、セミナー講師の株式会社メディパスの取締役・事業本部長 小田弘氏にフェアについてお話を伺いました。

**今回の企画である、介護職外国人採用支援フェア開催の動機と趣旨についてお聞かせください。**

**小田** 2025年に介護業界では38万人の介護職員が不足するといわれています。介護以外の業界でも人材不足が顕著になっている現状から考えると、介護業界の人材不足は加速度的に進み、想像以上に深刻な状況になるでしょう。皆様、外国人を受け入れなければならないと思いながらも、なかなか踏み出せない状況でしたが、現実は無関係ではいられなくなっています。2年位前からベトナムがいいのか、フィリピン、インドネシア、中国等、どこの国がいいのか、比較する場所が欲しいというお話をいただいております。外国人の技能実習に関する法律がいよいよ11月1日に施行されることとなりましたので、このタイミングで満を持しての開催となります。各国の送り出し機関が一堂に会してのフェアは国内介護業界で初めてだと思います。

**本日のブースの送り出し機関の特徴についてお聞かせください。**

**小田** 今回は日本語でプレゼンができることを基準に出展いただいています。つまり日本語が話せるか、スタッフに日本人がいるかが基準です。介護は他の業界と比較したとき、よりコミュニケーションが必要なサービス業です。送り出し機関には、日

本の習慣、マナーがわかるスタッフがいるほうが望ましいと考えております。

事前アンケートで人気が高いのはベトナム・中国ですが、同じ国でも比較できるようにベトナムからは6社、ミャンマーから2社、中国からは4社、フィリピンからは3社出展いただいています。また皆様に幅広く多くの国に興味を持っていただきたく、ネパール、タイ、インドネシア、モンゴルの送り出し機関の方々にもご出展いただいています。

ベトナム人気の理由については、仏教を信仰する人が8~9割の仏教大国であるという理由があげられます。ベトナム同様ミャンマーを、宗教観から選ぶ企業が多いようです。

**本日沢山の方々が集まれ、大盛況ですが参加者の構成はどのような方々がお集まりですか。**

**小田** 今日の参加者は180名ほどです。約7割が介護・医療



株式会社メディパス 取締役・本部長 小田 弘氏



施設を運営している企業、残り3割は社労士、弁護士、行政書士などの士業の方や、人材関係、コンサルタント系の方々になります。

改正技能実習制度の施行がいよいよ目前になりました。ガイドライン公表の見通し、その間監理組合、介護事業者の対応はどのようにすればいいのでしょうか。既に、現地でマッチングして受け入れを決めている介護事業者もあるようですが、フライングなどの問題はないのでしょうか。

**小田** 多くがフライングをしてしまったと聞いています。海外に介護専門の日本語学校を作り勉強させていたが、タイミングが合わず介護業界以外に送り出さざるえなかったところ、仕切り直しをしたところさまざまのようです。

重要なことは、信頼出来る送り出し機関と監理団体を経営者が自ら見つけて、法律を読み解いてきちんと進めていくことです。きちんと進めないと罰則があり、以後、受け入れる事ができなくなってしまいます。まずは送り出し機関ときちんとコミュニケーションをとって、信頼できる先をみつけてほしいと思い

ます。監理団体はルールが定まる8月以降でもいいのではないのでしょうか。そういう意味で、このフェアはとても良い機会になったと思います。

改正技能実習制度が施行した場合、実際に技能実習生の受け入れは、いつ頃になると見通しておられるのでしょうか。またどの程度の数の技能実習生の受け入れが見込めるのでしょうか。

**小田** ルール通りに行くと11月1日に新制度が施行されて受入が解禁となります。その後、国内外と手続きをすると少なくとも3カ月かかりますから、最短で2月1日以降になるのではないかと思います。人数に関してははっきりはわかりませんが、全国で400人~500人くらいになればいいのではないのでしょうか。大手の企業でさえ初年度は慎重に2名~4名の受け入れからはじめるようです。

技能実習生の日本語能力について、入国時にN4程度、1年後N3程度の語学力の取得が義務化されるか議論されているようです。毎日8時間労働をしながら日本語の勉強をして1年後



「技能実習制度の仕組と注意点」「外国人介護スタッフの受け入れ成功の秘訣」などのセミナーの様子



各国の送り出し機関が一堂に会するこの企画に、多くの介護事業所が集まった。日本語を話せるスタッフが笑顔で迎えてくれる。



にN3を取得することは非常に難しいでしょう。また日本語能力試験は年に2回実施されますが、試験回数が少ないので、この試験制度自体の見直しか、それに準ずるものがないと、間口が広がらないと思います。このルールが緩和されていけば、2～3年後くらいに右肩上がりに増えるのではないかと思います。

### 受け入れた後の外国人の教育や定着について何か支援策などはありますか。

**小田** 教育については、今日のフェアでお披露目した『メディアパスアカデミー介護』は、送り出し機関、監理団体、受け入れ先企業が同じ教材でいつでも、どこでも、とてもリーズナブルな価格で介護の勉強できるクラウドソフトになります。日本語はもちろんのこと、日本の風土、切符の買い方やゴミの捨て方など生活の仕方までスマホで見ることができます。

定着については、外国人ダイバーシティ推進協議会、を立ち上げました。国籍・人種・宗教などバラエティに富んだ属性の人たちが、互いの個性を活かし、どうしたら能力を発揮できるのか、各企業の受入れ実態をケーススタディする事で外国人就業定着に活かすことを目的にしたものです。実際に受け入れた

企業様の失敗、成功談をモデルケースとしてもちより勉強してもらおう場を、当社が運営事務局として年に何回かやっていきたいと考えています。第一回目は来年夏頃を予定しています。

### 株式会社メディアパス様の今後のビジョンと戦略をお聞かせください。

**小田** 最終的には、いろいろな国の人に来ていただき、やがて自分の国に帰ったとき、日本で学んだ介護・医療を自分達の国で役立てるようなインフラを作りのお手伝いをしたいと思っています。また日本の介護事業者の海外進出のお手伝いをしながら日本の介護・医療の輸出もサポートしたいと思っています。

また、既に始めていることですが、不動産会社と協業しながら、都心で3万円弱で入居できるシェアハウスを提供しています。白物家電や寝具を装備、洋服だけ持参すればすぐに生活ができます。衣食住で技能実習生が住みやすくするためにできることは沢山あります。そのようなことをどんどん商品化していきたいと思っています。

本日はお忙しい中ありがとうございました。

(文/編集部)



各国の送り出し機関が、持ち時間10分で特長をアピールした。

